

# 豊富町「ゼロカーボンシティ」宣言

近年、世界各地で深刻な自然災害が発生し、国内においてもこれまでに経験したことの無い集中豪雨や猛暑などが頻発、各地で甚大な被害が発生しています。

これらは二酸化炭素をはじめとした温室効果ガスによる地球温暖化が原因とされております。

2015年に採択されたパリ協定では「平均気温上昇を産業革命以前に比べて2℃未満とし、1.5℃に抑えるよう努力する」との目標が掲げられ、この目標を達成するには「2050年までに二酸化炭素の実質排出量をゼロにすることが必要」とされています。

このような国際情勢から、2020年10月に我が国の政府は「2050年までに温室効果ガス排出を全体としてゼロにする、すなわちカーボンニュートラルを目指す」ことを表明し、2021年5月に改正地球温暖化対策推進法が制定されました。

さらに、北海道においても地域資源を最大限活用しながら、脱炭素化と経済活性化、持続可能な地域づくりを同時に進める「ゼロカーボン北海道」の実現を目指すこととされました。

豊富町においても、脱炭素社会の実現に向けて、豊富な資源環境と美しい景観を守るため、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」として、主体的に取り組んでいくことをここに宣言します。

令和5年3月10日

豊富町長 河田 誠 一